

令和8年度 試験研究課題/展開事業の一覧

島根県畜産技術センター

1. 試験研究

番号	区分 (財源)	研究課題名	担当科	研究概要
1	一般研究 (県単)	美味しさに関する新たな選抜指標の確立による「しまね和牛」種雄牛造成手法の確立と高品質な凍結精液安定供給体系の構築 (R5～R9)	しまね和牛改良科	肉用牛生産の拡大の一層の推進を図るため、①美味しさに関する新たな選抜指標の確立、②高品質な凍結精液の安定供給の構築、③遺伝的能力評価の活用による経済性と美味しさに優れた種雄牛の効率的造成に関する研究を行う。
2	一般研究 (県単)	新たなPR指標「小ザシ」による「しまね和牛」ブランド確立のための評価基準と能力評価手法の確立 (R7～R9)	肉用牛生産技術科 ・ しまね和牛改良科	「しまね和牛」の新たな美味しさ評価指標として「小ザシ」に着目し、①「小ザシ」の評価指標を確立②美味しさ評価指標の適正基準を設定する。さらに、「小ザシ」の改良を加速化するため、種雄牛造成や優良雌牛選抜に活用できる「小ザシ」の遺伝的能力評価体制を確立する。
3	一般研究 (県単)	自給飼料の通年体系の確立と高栄養化による畜産経営の低コスト化 (R7～R9)	酪農・担い手支援科	自給飼料を活用した足腰の強い畜産経営への変革のため、①デントコーン・水田裏作に対応する秋冬作飼料作物栽培体系の確立②営農法人・コントラクター組織・畜産農家と連携した現地実証③自給飼料を最大活用する飼料給与体系の確立を図る。
4	一般研究 (県単)	後代検定	肉用牛生産技術科	新規種雄牛候補産子の肥育能力評価を行い、県有種雄牛の選抜に活用する。 ・終了:紀多姫(8月)、真喜桜(9月)、暁亀忠(1月)、多喜福(2月) ・継続:暁亀忠、多喜福 ・新規:陸美津久、煌乃鶴、金幸照、北斗百合
5	一般研究 (県単)	経営形質ゲノミック評価技術体系の確立と種牛作出効率化技術の開発 (R5～R9)	肉用牛生産技術科 ・ しまね和牛改良科	肉用牛の生産拡大をスピードアップするため、①妊娠期間および生時体重などの繁殖経営に重要な経営形質のゲノミック評価技術の確立、②受精段階において種雄牛の能力評価が行える技術確立に取り組む。
6	一般研究 (県単)	繁殖牛として評価される「しまね和牛」雌子牛育成技術の確立 (R8～R10)	肉用牛生産技術科	肉用牛生産拡大においては、特に、繁殖用雌子牛の評価向上が重要な課題であり、繁殖用雌子牛用に特化した管理指標を普及定着させるため、使用管理技術の開発に取り組む。
7	一般研究 (県単)	行動センサーを活用した肥育牛の事故低減と遺伝的改良による生産性向上技術の開発 (R8～R10)	肉用牛生産技術科	「行動センサー」を活用した肥育牛の管理省力化技術を開発し、疾病・暑熱ストレス耐性に関するゲノミック評価体系を確立し、遺伝的改良に取り組む。
8	一般研究 (県単)	早期炎症指標を活用した搾乳期間延長手法の開発 (R8～R10)	酪農・担い手支援科	乳牛の高能力化により乾乳時の乳量が多い牛は、搾乳期間を延長した方が収益性が向上。搾乳期間延長(乾乳期間短縮)の可否を判定するため、新指標DSCCを活用した判断基準の設定に取り組む。
9	共同研究 (JRA)	和牛ゲノムデータ駆動型未診断疾患解明事業 (R8～R10)	しまね和牛改良科	和牛における遺伝性疾患の原因遺伝子を特定するため、候補変異を持つ個体の臨床観察、検査により、候補変異と疾患臨床症状との関連を検証する。
10	共同研究 (国補)	スマートな放牧みまもり:中山間地域で「放牧地へ行く」を減らす (R8～R10)	肉用牛生産技術科	中山間地域において、ICTやIoT等スマート機器の活用により、省力的かつ効率的な放牧牛管理を展開し、生産性の高いスマート放牧体系の実証を行う。
11	共同研究 (JRA)	非ゲノム情報活用による雄牛繁殖性予測事業 (R6～R8)	しまね和牛改良科	黒毛和種若雄牛の繁殖性に関連する新たなバイオマーカーとして、凍結精液の精子DNAメチル化を主体とした非ゲノム情報に着目するとともに、新たに開発されるウシ用DNAマイクロアレイ等を駆使してその情報を取得し、AIや機械学習法による若齢種雄牛の繁殖性評価モデルの構築を目指す。

2. 事業

番号	事業名	担当科	事業内容
1	乳用牛群検定普及定着化事業（H2～）	酪農・担い手支援科	検定成績の分析、指導
2	飼料安全対策事業（H16～）	酪農・担い手支援科	飼料安全法に基づく立入検査、飼料収去等生産流通飼料に係わる検査を実施
3	飼料分析業務（H16～）	酪農・担い手支援科	分析依頼者（業者等）及び県内農業経営者の飼料成分分析を実施 ・分析方法：近赤外線および化学的分析法 （県手数料条例に基づき実施）
4	受精卵移植事業 (1)受精卵移植による雌牛群造成事業（H20～） (2)種雄牛造成対策事業（H16～）	肉用牛生産技術科	肉用牛、乳用牛の改良増殖を効率的に推進するため以下の事業を実施 (1)受精卵移植による雌牛群造成事業 ・受精卵供給（肉用牛） ・受託採卵 ・受精卵移植技術研修 (2)種雄牛造成対策事業 ・供卵牛の選定と採卵 ・種雄牛候補牛の生産
5	種雄牛造成対策事業 (1)基礎雌牛の選抜 (2)直接検定 (3)新規交配 (4)後代検定 凍結精液製造事業	しまね和牛改良科	・優良雌牛の選定 ・直接検定牛の購入・導入 ・新規交配の実施 ・後代検定実施 ・凍結精液の製造及び販売